

【参考資料】

復興・被災者支援に関する領域の評価ツールセット  
(保健・医療・福祉分野)

平成 31 年 3 月

## 【参考資料】

### 1. ロジックモデル

本評価ツールが対象とする「保健・医療・福祉」分野は、国内のNPO法人において最も多い活動分野であり、健康・医療に関することや「社会的弱者」を支援・サポートする事業が行われています。例えば、障がい者や児童、要介護者などに対する支援や情報提供の活動のほか、近年は生活困窮者や低所得者、犯罪被害者などの社会的弱者に対する支援活動を行うNPO法人も多くなっています。

「保健・医療・福祉」分野は、高い専門性を要するとともに活動の幅が非常に広く、また、活動目的も多岐にわたっているのが特徴と言えます。本調査では福祉分野の一部を扱いましたが、障がい者自立支援施設や障がい福祉サービス、障がい児・者の生活サポート、障がい等に対する理解を深めるための普及啓発活動など活動の幅が広く、市民や大学、企業、NPO、行政等と協働し、障がい者支援等の活動を通じて、社会の発展に関する事業を行い、多様性のある子どもやそのご家族などが平等に安心して暮らせる地域をつくることを目指しています。

そこで、図1のロジックモデルの一例では、保健・医療・福祉の最終目標を「地域における多様な療育・介護環境の構築」「生活の自立」と設定しています。

#### ロジックモデル案

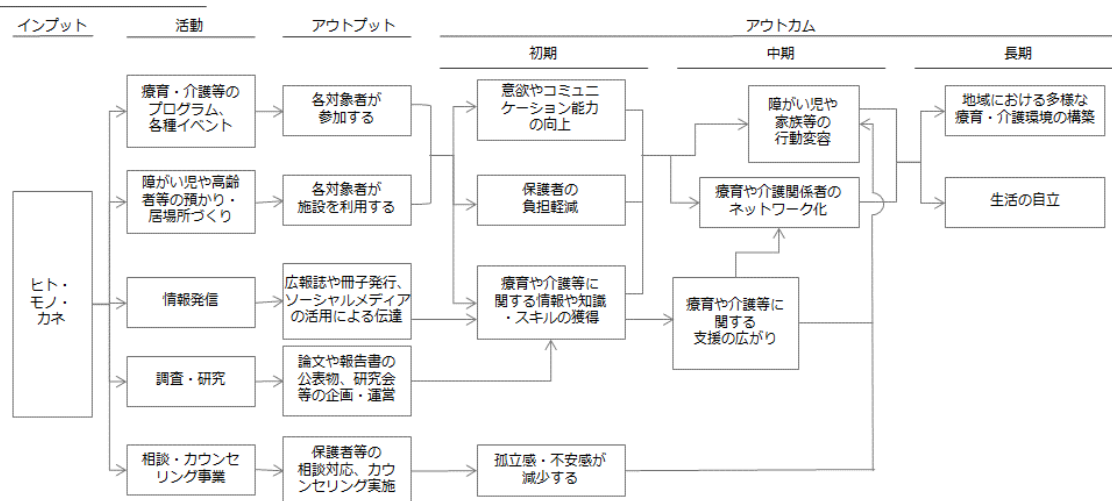


図1：保健・医療・福祉分野のロジックモデルの一例

ロジックの内容としては、まず活動のアウトプットの成果として初期アウトカムが現れますが、ここでは「意欲やコミュニケーション能力の向上」「保護者の負担軽減」「療育や介護等に関する情報や知識・スキルの獲得」「孤立感・不安感が減少する」の4つを抽出しています。

次に、初期アウトカムが生じた結果（多くの場合、それが繰り返して生じた結果）として中期アウトカムが現れますが、ここでは「障がい児や家族等の行動変容」「(療育や

## 【参考資料】

介護等に関する支援の広がりによる)療育や介護関係者のネットワーク化」を設定しています。

さらに、事業の最終目標となる長期アウトカムは、初期・中期アウトカムの延長線上に位置し、「地域における多様な療育・介護環境の構築」「生活の自立」と設定しています。

## 2. 成果指標（評価指標）

1. のロジックモデルに基づき、表 1 のような成果指標の導入が考えられます。

表 1：保健・医療・福祉分野の成果指標（評価指標）の一例

種類	評価項目	指標
初期	意欲やコミュニケーション能力の向上	「意欲が向上した」「コミュニケーション能力が向上した」と回答する割合
	保護者の負担軽減	「負担が軽減した」と回答する割合
	関連する知識・スキルの習得	「関連する知識・スキルが習得できた」と回答する割合
	孤立感・不安感の減少	「孤立や不安を感じなくなった」と回答する割合
中期	障がい児等の行動変容	「態度や行動が変容した」と回答する割合
	療育や介護等の関係者のつながり	「関係者間のつながりが増えた」と回答する割合
長期	地域における多様な療育・介護環境の構築	「多様な療育・介護環境が構築されている」と回答する割合
	生活の自立	日常生活自立度尺度、「生活が自立できている」と回答する割合

【参考資料】

3. 測定方法

これらの成果指標に対して、表 2 に示すような測定方法が考えられます。

表 2：保健・医療・福祉分野の測定方法の一例

種類	評価項目	測定方法
初期	意欲やコミュニケーション能力の向上	アンケート調査（本人、保護者）※適応行動尺度の活用など
	保護者の負担軽減	アンケート調査（保護者）
	関連する知識・スキルの習得	アンケート調査（本人、保護者）、関連テストのスコア
	孤立感・不安感の減少	アンケート調査（保護者）
中期	障がい児や高齢者等の行動変容	アンケート調査（保護者）、変容記録データの収集・分析
	療育や介護等の関係者のつながり	アンケート調査（保護者）
長期	地域における多様な療育・介護環境の構築	アンケート調査（保護者、自治体）
	生活の自立	日常生活自立度尺度を活用した測定、アンケート調査（本人、保護者）・二次情報調査

参考までに、表 2 に示した評価項目を測定するアンケート調査の例<sup>1</sup>を以下に挙げます。

ア) 意欲やコミュニケーション能力の向上に関するアンケート（言語活動の状況）<sup>2</sup>

	当てはまる	どちらかといえば、 当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
1. 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<sup>1</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）を主な参考としている。

<sup>2</sup> G8 社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会「社会的インパクト評価ツールセット」

## 【参考資料】

### イ) 保護者の負担軽減に関するアンケート<sup>3</sup>

#### ③家族の負担軽減につながった。

1. 改善した                      2. どちらかといえば改善した                      3. 変わらなかった  
4. どちらかといえば悪化した                      5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

### ウ) 関連する知識・スキルの習得に関するアンケート

本取組によって、関連する知識・スキルはどれくらい習得できましたか？

1. 大変習得できた    2. ある程度習得できた    3. どちらとも言えない  
4. あまり習得できなかった    5. 全く習得できなかった

### エ) 孤立感の減少に関するアンケート<sup>4</sup>

#### ①孤立感や不安感が軽減された。

1. 改善した                      2. どちらかといえば改善した                      3. 変わらなかった  
4. どちらかといえば悪化した                      5. 悪化した

※「4.」または「5.」を回答された方は、その理由をご記入ください。

### オ) 障がい児や高齢者等の行動変容に関するアンケート

地域の障がい児や高齢者等の行動や言動に良好な変化が見られますか？

1. 大変見られる    2. ある程度見られる    3. どちらとも言えない    4. あまり見られない  
5. 全く見られない

### カ) 療育や介護等の関係者のつながりに関するアンケート<sup>5</sup>

	増えて いない	少し 増えた	ある程度 増えた	とても 増えた
プログラム・イベントへの参加/施設の利用によって 地域内の友人・知人の数は増えましたか？	1	2	3	4

<sup>3</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

<sup>4</sup> 平成 28 年度実施の絆力事業の各取組の受益者等へのアンケート（取組に対する受益者の満足度等アンケート）

<sup>5</sup> G8 社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会「社会的インパクト評価ツールセット」

## 【参考資料】

キ) 地域における多様な療育・介護環境の構築に関するアンケート

地域における多様な療育・介護環境が十分に構築されたと思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない

ク) 生活の自立に関するアンケート（保護者向け）

支援対象者の生活自立度は十分なレベルに達したと思いますか？

1. 大変そう思う
2. ある程度そう思う
3. どちらとも言えない
4. あまり思わない
5. 全く思わない